

稲作だより

～第5号 水管理 編～

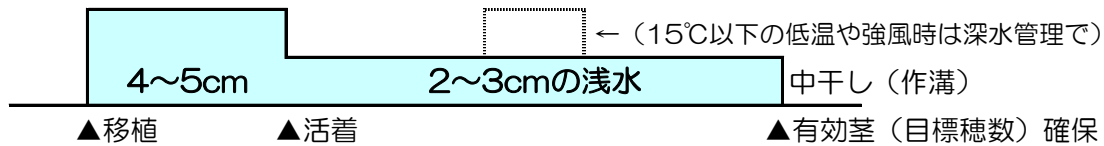
気温の上昇とともに、土壌還元による生育抑制が懸念されます。初期生育の確保のためにも、きめ細やかな水管理を行いましょう。

1. 天候に合わせた水管理で分けつ促進！

○初期生育確保のための水管理

- ・活着後は水深2～3cmの浅水管理とし、分けつの発生を促します。夕方または早朝に灌漑し、日中は止水して水温を高めましょう。なお、低温や強風の場合は深水にして稲体を保護します。

[有効茎確保までの水管理]



○ワキや表層剥離の対策

- ・ワキ（土壌が還元し、ガスが湧いて酸素不足）の発生は、根を痛め、生育を停滞させます。また、表層剥離や藻が発生すると地温が上がらず、酸素も届きにくくなります。下表を参考に、暖かい日の夜間に落水し、新鮮な水と交換しましょう。

表 ワキ(土壌還元)の程度と対策

ワキの程度	生育への影響	対策
水田に足で踏み込むと気泡が発生	根の活力低下	水交換
水田に足で踏みこむと盛んに気泡が発生	根張りが不良	水交換、夜間落水
晴天時に自然に気泡が発生 足で踏み込むと、著しく気泡が発生、悪臭	根の伸長阻害、 葉の黄化、生育停滞	夜間落水、 曇天日に2～3日、落水

1～2日落水しても除草剤の処理層は壊れません。イネの生育確保を優先してください。

2. 除草剤使用の注意点

- 高温が続くと雑草の生育が早まります。遅れずに適期散布に努めましょう。効果を高めるため、除草剤の散布後7日間は落水できません。ワキが発生していなくても、除草剤散布の前に水交換を行いましょう。

3. 病害虫防除は早期から

- 置き苗は 葉もちの元凶です。すぐに撤去しましょう。
- 斑点米カメムシ類対策として、カメムシの生息地となる畦畔・農道等は継続して草刈りを行いましょう。



☆春の農作業事故防止啓発運動展開中（4月10日～6月10日）

あせらず、ゆとりを持って農作業をしましょう。周囲の方にも、声掛けを！

【発行】 村山総合支庁北村山農業技術普及課 TEL0237-47-8637, 8638, 8632